

向陽高等学校文化部活動方針

1. 文化部活動のねらい

- (1) 文化部活動をとおして、自主性・協調性・責任感・創造性等を育み、芸術文化等の活動に親しむ基礎を育成する。
- (2) 文化部活動をとおして、部員同士、部員と部活動顧問の好ましい人間関係を構築するとともに、集団への帰属意識を高め、学校生活満足度を向上させる。
- (3) 多様な表現や鑑賞の機会を設定し、豊かな心や芸術性の涵養に努める。
- (4) 各種大会・コンクール・コンテスト（以下、大会等）に参加することにより、表現力や鑑賞能力、並びに技能を高めるとともに、目標を達成する態度を育成する。

2. 休養日及び活動時間

(1) 休養日の設定

- ① 1週間のうち、平日に1日以上休養日を設定する。
- ② 休日（土曜日・日曜日・祝日及び振替休日等）は、1ヶ月のうちに完全休養日を2日以上設定する。＊家庭の日（毎月第3日曜日）を考慮する。
- ③ 長期休業日（夏休み・冬休み）においては、お盆や正月等の家庭行事にも配慮し、連続3日以上休養日を設定する。
- ④ 春休み・秋休み期間中は、②の設定による。

(2) 活動時間の設定

- ① 平日については、19時完全下校とする。
- ② 休日（土曜日・日曜日・祝日及び振替休日等）については、3時間以内の活動を原則とする。但し、大会等を間近に控え、活動時間を延長したい場合においては、校長の承認を得ることを条件とするが、週当たりの活動時間が16時間を超えないようにする。
- ③ 定期考査の時間割発表から定期考査終了日前日までの期間において部活動を行う場合は、1時間程度の活動を原則とする。但し、定期考査終了日から2週間以内に大会等が開催される場合は、平日2時間程度、休日3時間程度の活動を認めるが、大会等の実施要項を添付した所定の様式により校長の承認を得る。
- ④ 設定された①②③の活動時間であっても、学校行事・学科行事を優先し、行事等に支障がないように活動すること。

3. 活動計画の作成と提出・承認及び公開

- (1) 文化部顧問は、月単位の活動計画を前月20日までに生徒会に提出し、生徒会は一覧表にまとめて校長に提出し承認を得る。
- (2) 文化部顧問は、年度当初に大会等の出場に関する年間計画を作成し生徒会に提出する。生徒会は、各部活動から提出された大会等参加計画を一覧表にまとめて校長に提出し承認を得る。
- (3) 校長は、文化部活動の活動計画をホームページへの掲載により公表する。
- (4) 文化部顧問は、大会等参加計画並びに月単位の活動計画については、校長の承認を得た後、部員・保護者に通知する。
- (5) 大会等への参加願、並びに学園部活動車の利用願については、10日前までに手続きを完了する。
- (6) 参加する大会等については以下のとおりとする。
 - ① 長崎県高等学校文化連盟（以下、高文連）が主催・共催する大会等。
 - ② 上記①の大会等を含め、1年間に参加できる大会等の回数は7回までを原則とする。
 - ③ 高文連に加盟していない部活動の大会等への参加については、大会参加審査委員会を設置し検討する。なお、委員会の構成は、管理職、生徒会指導部長、該当部活動顧問とする。

4. 研修参加及び情報の共有、並びに保護者や外部指導者との連携

- (1) 県や高等学校文化連盟、各団体が主催する研修会等に積極的に参加し、参加者による伝達講習会を開催し、その情報を共有しながら文化部活動の運営に活用する。
- (2) 3の(4)のとおり、大会等への参加や月単位の練習計画を保護者に通知することで、活動状況を保護者にも理解してもらうと同時に、保護者と連携して活動の充実を図る。

5. 部活動における危機管理について

- (1) 気温や湿度等を常に考慮して、無理な活動とならないよう配慮する。特に熱中症による事故防止に最善の注意を払い、活動時間の短縮並びに活動内容の変更や中止等、万全の対策を講じる。また、水分・塩分の補給や体温の冷却、不調を訴える生徒の病院への搬送等、適切な対応を徹底する。
- (2) 活動場所の安全点検を徹底する。特に、火気や刃物等を使用する部活動においては、使用前、使用後の点検並びに管理徹底する。
- (3) 事故等の発生については、マニュアルを作成しておき対応する。
- (4) 部員同士のトラブルに注意する。
- (5) 活動中の貴重品の管理を徹底する。
- (6) 体罰及び言葉による暴力は厳禁とする。
- (7) 部活動に係る運営費や遠征費等の処理は適切に行い、領収証を管理し、決算報告が求められても、いつでも対応できる準備を完了しておく。

6. 生徒のニーズを踏まえた文化部設置の検討

- (1) 文化部活動の設置については、生徒数や生徒のニーズ、教員の専門性等を考慮しながら定期的に検討していく。
- (2) 新たな部活動を設置する場合においては、施設・設備、スクールバスの運行時間等を考えながら検討する。